

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	大村 洋子
発言の会議	平成26年11月27日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、消防局長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 原子力災害対策について

- (1) 市長は全国で実施された原子力防災訓練をどのように参考にしているか。
- (2) 当該自治体として本市が積極的に広域の原子力防災訓練を提唱すべきと思うがいかがお考えか。
- (3) 市長は長浦地区で行われた原子力防災訓練での薬剤師会の協力、薬剤師の参加についてどう評価しているか。
- (4) 参加された薬剤師からアドバイス、改善点のご指摘などはあったのか。
- (5) 今後の医師会の協力に関して、具体的にどのように働きかけているか。
- (6) 安定ヨウ素剤を水薬にすることで生じる課題をどのようにクリアしていこうと考えているか。
- (7) 風向きなどいくつか想定し、避難所を指定しておくことが必要ではないか。
- (8) 観光客や外出中の方がコンクリート屋内に退避できるようビ

ルオーナーに協力を要請する必要性について市長はどのように考えているか。

- (9) 原子力艦の入港を観光客や市民へ周知できるよう改善すべきと思うがいかがか。
- (10) 原子力防災訓練の意義について児童生徒にどのように説明するよう教育委員会に指示したのか。
- (11) 安定ヨウ素剤の配付について小学生、中学生にどのように説明するよう教育委員会に指示したのか。
- (12) 原子力防災における消防局と市民安全部のすみ分けについて消防局長の認識を伺う。
- (13) この数年間の蓄積をもってマニュアルを作成し、同時に全体像を示してほしいと考えるが市長はいかがお考えか。
- (14) 原子力の活用についてどのように考えているか。
- (15) 外交・防衛・安全保障の問題から原子力空母の配備はやむを得ないとの考え方は、横須賀市民の命・健康・安全を軽視することを土台に成り立つ考え方だと思うが、市長はどのように考えるか。

## 2 消費税の増税問題について

- (1) 消費税が8%へ増税され8カ月になろうとしているが、現在の市内経済や市民生活の状況をどのように捉えているか。
- (2) 消費税が10%に上がった場合、本市にとってどのような影響があるか、また市民生活への影響についてどのように考えているか。
- (3) 政府の再増税先延ばしの方針についてどう考えるか。
- (4) 消費税が国民の理解を得やすいという市長の認識について
- (5) 消費税増税分が社会保障に充てられるという根拠について

### 3 施設配置の適正化について

- (1) 市民と共有すべき施設配置の適正化を進めなければならない理由の内容とは具体的に何を示しているのか。
- (2) 市民との共有化はできたと感じているか。
- (3) 「人口減少」「全国で一番の転出数」という不名誉な文言と一緒に、今度は施設までもが縮減となり、市民の中には、横須賀はこれから先どうなってしまうのかという、漠然とした不安感が広がったのではないかと思うが市民への周知方法についてどのように考えているか。
- (4) 現段階でのパブリック・コメントの結果をどのように受け止めているか。
- (5) 分野別実施計画を検討する検討部会において、市民の参加は担保されるのか、またどのような方が構成員となるのか。
- (6) 検討部会内にある調整部会はどのような役割を担うのか、またどのような方が構成員となるのか。
- (7) 施設配置の適正化計画というのは、市の資産の扱いを今後どうしていくかという、財政部の観点だけでなく、政策推進部が他部局との連絡調整をしっかりと行いながら、まちづくりという大きく俯瞰的観点で進めていくことが重要ではないかと考えるが、市長はなぜ、財政部主導でこのプロジェクトを進めようと考えているのか。